

令和3年度第2回天童市教育委員会について（報告）

日 時 令和3年5月25日（火）午前9時59分から午前10時58分まで
場 所 市立山口公民館 交流展示室1
出席委員 相澤一彦教育長、村山晴香委員、松村昌子委員、大内あゆ子委員
欠席委員 工藤昭広委員
出席者 武田文敏教育次長兼教育総務課長、町田真裕学校教育課長、
矢萩茂生涯学習課長、大沼敦学校給食センター所長、
事務局（教育総務課職員）

議 事

- 議第 5号 令和3年度教育委員会所管6月補正予算（第2号）について
議第 6号 天童市学校評議員の委嘱について
議第 7号 天童市社会教育委員の委嘱について
議第 8号 天童市文化財保護審議会委員の委嘱について
議第 9号 天童市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
議第10号 天童市学校給食食物アレルギー対応検討委員会委員の委嘱について

<教育長あいさつ>

皆さん、おはようございます。大変緑が美しい季節になりました。

子どもたちにタブレット端末が配付されて3か月経過しました。各学校で、いろんな活用をしております。今後、活用方法や課題などを整理し進んでいきたいと考えています。

先日の小中学校教頭会では、教頭自身が自分の判断と基準を持って校長に進言すること、大事なのは教頭自身がしっかりした教育哲学を持つことについて、次の話をしました。

一つ目は、悩みを持つことは、良くないことと子どもたちは思いがちですが、悩むことは非常に大事なことではないかと思えます。悩みというのは、まっすぐ誠実でありたいと思うからこそ人間は悩むのであって、そういうことを大事にしてほしいということでもあります。

次に、大村はまさんの言葉で「興味を持つべきところに、子どもを連れて行くのが教師です。」同じように、有田和正さんは「これだけは何としても教えたいというものを、子どもたちがそれを学びたい、追求したい、調べたいというものに転化させることが教師の仕事である。つまり、教師が上からでなく子ども自身から、「これは大事だから自分から学んでみたい」と転化させることが教師の仕事であるということでした。

三つ目に、尾木直樹さんと茂木健一郎さんの「インターネットは、世界中に広が

っているが、逆に他を受け入れず閉じる道具にも使われる。」という対談から、私たちが子どもたちにタブレット端末を与えるのは、子どもの世界を広げるためであるということであり、仲間だけでつなぐとか、自分の意見に「いいね」だけを集めるものではないということです。以上のような哲学を、教頭自身がそれぞれ持ってほしいという話をしました。

最後に、市民科副読本で三和油脂さんに原稿を依頼してきた際、三和油脂さんから中学生に米油を寄贈したいというありがたい申し出がありました。三和油脂さんからは「天童にこんな工場がある。」「こんな仕事がある。」「そして生きがいを持ってそこで働くことを大事にする。」というお話がありました。

そんな前向きなことが、市民科副読本から子どもたちの中で広がり生まれればと思います。今後とも天童の子どもたちが、現代的ながらも普遍的な価値を見出しながら前向きに進む。そういう教育でありたいと思っております。

< 議 事 >

議第 5 号 令和 3 年度教育委員会所管 6 月補正予算（第 2 号）について

< 可決する >

審議経過 質疑なし

< 議 事 >

議第 6 号 天童市学校評議員の委嘱について

< 可決する >

審議経過 質疑なし

< 議 事 >

議第 7 号 天童市社会教育委員の委嘱について

< 可決する >

審議経過 質疑なし

< 議 事 >

議第 8 号 天童市文化財保護審議会委員の委嘱について

< 可決する >

審議経過 質疑なし

< 議 事 >

議第 9 号 天童市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

< 可決する >

審議経過 質疑なし

< 議 事 >

議第10号 天童市学校給食食物アレルギー対応検討委員会委員の委嘱について
＜可決する＞

審議経過 質疑なし

< 報 告 >

(1) 学校教育課

ア 令和3年度天童市教育委員会学校訪問の実施要領について

(2) 生涯学習課

ア 令和3年度天童市立図書館運営協議会委員の委嘱について

イ 天童市立公民館運営審議会委員の委嘱について

ウ 天童市立公民館分館長及び分館主事の委嘱について

エ 天童市青少年指導センター指導委員の委嘱について

教育長： その他に議事は無いようですので、第2回教育委員会会議を終了します。